

日本縦断走り旅の回想

今回の走り旅と試走会の記憶が混在しており随分と昔の出来事に思える。

思えば、何と云っても森塚さん夫婦始め励み隊の皆さん、各地のエドの皆さんとただただ感謝の思いで一杯の走り旅でありました。

フルを若干のトラブル等あったにせよ無事に完走亦された皆さん、さぞ感無量のことに推察いたします。大変な偉業(?)を達成され誠におめでとうございました。

私はブロッコ参加であったが、最終日を終へても然したる感激も湧くことも無く帰路についたことを記憶していません。元来、情の薄い人間なのでしょうが、5月の川の道ゴール直前の日本海に向けて完走の感激を大声で叫んで下さいとスタッフが、何度も何度も強要されへきへきした事を覚えています。

本番に向けての試走会が本当に有効であった。初めのシミュレーション九峠試走が、強い印象を受けた。何日も寒い中、不安であれども氷も荷物が増え、走り方も判じ、地回りに不慣れで苦痛にこそが、生かされたのだらう。

走り旅が、旧街道の探索でGPを多く、選定していたたいては、残念ながら私には記憶が……。

むしろ道中皆さんの食べたり、飲んだり、エドの皆さんの顔が印象強く、宿もわら屋、木橋屋の強烈な個性が思い出される。しかしビジネスホテルの方がずいぶん良かった。

自然に触れる事が好きな私は山を駆け出しを現に楽しんだが、山中の峠付近では全国いたる所にゴミが投棄されていたこと、荒廃が進んだ田畑、廃屋等、考えさせられたことも印象に残る。

今回の走り旅最大の印象は素晴らしい皆さんと、楽しい時間を過ごせたことであった。本当に有り難うございました。

小池修